

『だから あなたが祈るときは』

【6日目 御国が来ますように】

2025 年 1 月 13 日(月)

救いが訪れた

ルカによる福音書 19 章で、イエスはザアカイの家に入ろうと言われました。9 節では「今日、救いがこの家を訪れた」と言われています。この物語では、イエスがザアカイの家に入ることでその家に救いが訪れる、という重要なメッセージを伝えています。ザアカイがイエスを受け入れたことにより、彼の心に神の国が訪れました。同様に私たちも、イエスを心に迎え入れることで神の国に入る準備が整うのです。またイエスは、ヨハネ 17 章で弟子たちに対して、この世から物理的に分離されるのではなく、この世の悪に属さないようにと祈っています。(ヨハネ 17:15、16) ここでは私たち信仰者が、周囲の影響に惑わされず、神の価値観に基づいて生きることの重要性を強調しています。

私たちは今住んでいる場所でも、天国で生活しているように生きる習慣をもたなければいけません。この世の事がらに心を奪われ過ぎると、この世の価値観に染まっていくからです。「あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。」(マタイ 6:21) しかし私たちが神様と天国に焦点を合わせるなら、神の国(の価値観)が私たちの心の内側と周囲を覆うようになります。「神と対話し、目に見えない世界を現実として受け入れる人々の顔には、神の平和が表れています。彼らは、天国の優しく温かな雰囲気を持ち歩いています。」(『メディカル・ミニストリー』 252 ページ[英文])

私がキューバに伝道旅行に行ったとき、多くの子どもたちとその親がメッセージを聞きに来てくれました。この地域を担当する牧師から、参加したすべての人が一人の女性の影響によって来てくれていたのだと聞かされました。早速私は彼女に会い、人々に参加したいという気持ちを起こさせるのに、何と云って彼らを誘ったのかと尋ねました。彼女は「私は、何も言っていませんよ」と答え、翌日彼女がしていることを見に来て欲しいと言いました。

約束通り、次の日に行ってみると、彼女の住む家は物置小屋のようなとても小さな家でした。中には二段ベッドが2つ、小さなテーブルと小さな椅子2脚、そしてキャンプ用のストーブの他に家具はありませんでした。お昼になると彼女は家の前に出ていきました。するとそこに 200 人近い子どもたちがやってきたのです。彼女が子どもたちに土の上に座るように呼びかけると、子どもたちは親の署名入りの紙を私たちに見せながら列をつくりました。彼女は子どもたち全員にご飯を配り、子どもたちは座って食べはじめました。

子どもたちが食べている間、彼女は私たちに、近所の多くの人々は仕事を失ってしまったけれど、自分は仕事があるだけ恵まれているということ、彼女の給料では十分な食料を買うことはできないが、全員分のお米なら買うことができるのだと説明してくれました。彼女は子どもたちを養い、人々との友情を築くために、イエスと同じ方法を用いていたのです。神様は私たちに、イエスがしたように、神の国がどのようなものであるかを示し、人々がそれを望むようになってほしいと望んでおられます。

「自分のためだけに生きるなら、私はイエスのようになれるでしょうか？ 私がただ肉体的なパンだけを人々に与えるなら、本当にそれは彼らの助けになるのでしょうか？ だから私は、子どもたちに愛をもってお米を食べさせるだけでなく、霊的なパンも与えます。」

でも子どもたちが集中できる時間は短いので、子どもたちがちゃんと理解できているかどうかを確認するために、彼女は聞いたお話や歌を家に帰って親に伝えるようにと言いつけています。子どもたちが見せた親の署名入りの紙が、その結果を示していました。彼女は子どもたちの親にもアプローチしていたのです。この方法を続けているうちに、子どもたちは彼女のことが大好きになり、彼女を信頼し、喜んでお話を聞く準備ができたのでした。

食べ終わると、彼女は子どもたちにすぐにヨナの物語を話し始め、それから歌を教えました。子どもたちは彼女に抱きつきながら口々にありがとうございましたと言いました。「おばさん、大好き」という子どもたちの声が聞こえ、彼女も満面の笑みを浮かべていました。

「私は子どもたちに神の国を伝えたいと思うけれど、彼らも私を祝福と喜びで満たしてくれるのよ。私の願いは、彼らが教会に来て祈り、イエス様について学ぶ姿を見ることだわ。でも一番の喜びは、彼ら全員と天国で会うことかしら。だから私は今、彼らに天国の恵みの一滴を味わってもらいたい」と彼女は微笑むのでした。

イエスはまもなくおいでになります。しかしその日までに神の国に入る準備が整っているためには、今、心の内にある神の国に住んでいなければなりません。そして日々「主よ、どうか今日、あなたの天のみ国が私の心に訪れますように」と祈る必要があります。神様は今日、私たちが神の国を現実のものとするように呼びかけておられます。「日々の祈り、み言葉の学び、喜びの奉仕を大切にし、今住んでいる場所でも天国にいるかのように生活しなさい。あなたの心に天の国を迎え、これまで多くの信仰者たちが福音を伝える手となったように、あなたもその場所で神の手になりなさい」と。

神様は日々、神の国をあなたの心の内と家庭において実現しようと願っておられます。そしてあなたが天国の市民として、神の臨在の中で生きることを習慣とするように望んでおられます。毎朝あなたの心に神の国を招き入れ、あなたの行動をとおして、人々に神様の愛を伝えることができますように。共に祈りましょう。

祈りのグループの種類や、祈る方法はさまざまです。今から 30～45 分間、聖霊に導かれるままに、一致した祈りの時間を過ごすことをお勧めします。以下は、御言葉に基づいて祈る祈りの一例です。他の聖句を読んで祈ることもできます。祈りのアイディアについてはリーダーズガイドをご覧ください。

【神のみ言葉によって祈る】

「神の国はあなたがたの間にあるのだ。」（ルカによる福音書 17 章 21 節下句）

「神の国」

主よ、私たちはあなたの天の国がこの世の権力や力とは異なることを知っています。今日、私たちの生活の中で、真に謙遜なあなたの御国を理解し、実践する知恵を与えてください。あなたの地上の子どもたちに仕え、慰め、励ますことができるように私たちを導いてください。

「あなたがたの間にある」

神様、今日、私たちが天国の市民のように生活することができるように助けてください。私たちの関心を自分自身から他の人々へと向けさせてください。今、私が周囲で耳を傾けるべきなのは誰でしょうか？ 温かい食事や服を必要としているのは誰でしょうか？ イエスの変革の力について、私が証しをするべきなのは誰でしょうか？ 今日一日私たちの心に語りかけ、あなたの天の御国に住まわせてください。

【さらなる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるよう
に祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ